

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【公表番号】特表2015-526408(P2015-526408A)

【公表日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-520238(P2015-520238)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|--------|-----------|
| C 07 D | 401/12 | (2006.01) |
| C 07 D | 403/12 | (2006.01) |
| A 01 P | 3/00 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/56 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/60 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/78 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/653 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/80 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/40 | (2006.01) |
| A 01 N | 43/647 | (2006.01) |
| A 01 P | 5/00 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|--------|---------|
| C 07 D | 401/12 | C S P |
| C 07 D | 403/12 | |
| A 01 P | 3/00 | |
| A 01 N | 43/56 | D |
| A 01 N | 43/60 | |
| A 01 N | 43/78 | B |
| A 01 N | 43/653 | A |
| A 01 N | 43/653 | L |
| A 01 N | 43/56 | F |
| A 01 N | 43/80 | 1 0 1 |
| A 01 N | 43/40 | 1 0 1 D |
| A 01 N | 43/647 | |
| A 01 P | 5/00 | |

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

実施形態47.式1または実施形態1~36のいずれか1つの化合物であって、式中、Lが1,2-フェニレンを含む場合、前記1,2-フェニレンは、任意選択的に、F、C₁、BrおよびCH₃から独立して選択される2個以下の置換基で置換されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0130

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0130】**

実施形態55. 実施形態53の化合物であって、式中、R^{2-a}は、FまたはC1である。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0152****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0152】**

実施形態70. 式1または実施形態1~66cのいずれか1つの化合物であって、式中、Qの複素環は、フラン、チオフェン、ピロール、オキサゾール、チアゾール、イミダゾール、イソオキサゾール、イソチアゾール、ピラゾール、1,2,4-オキサジアゾール、1,2,3-オキサジアゾール、1,3,4-オキサジアゾール、1,2,4-チアジアゾール、1,2,3-チアジアゾール、1,3,4-チアジアゾール、1,2,3-トリアゾール、1,2,4-トリアゾール、テトラゾール、4,5-ジヒドロイソキサゾールおよび4,5-ジヒドロピラゾールから選択される。

【手続補正4】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0199****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0199】**

スキーム1~19に記載の以下の方法および変形の1つ以上を用いて、式1の化合物を調製することが可能である。以下の式1~38の化合物におけるA、R¹、L、G、R²およびnの定義は、別段の定めがある場合を除き、発明の概要において上記に定義されているとおりである。式1a~1fは式1の種々のサブセットであり、式1a~1fに係るすべての置換基は、別段の定めがある場合を除き、式1について上記に定義されているとおりである。式7a~7cは式7の種々のサブセットであり、式7a~7cに係るすべての置換基は、別段の定めがある場合を除き、式7について定義されているとおりである。式13a~13eは式13の種々のサブセットであり、式13a~13eに係るすべての置換基は、別段の定めがある場合を除き、式13について定義されているとおりである。式16aは式16に対する同族であり、式16aに係るすべての置換基は、別段の定めがある場合を除き、式16について定義されているとおりである。式19aは式19のサブセットであり、式19aに係るすべての置換基は、別段の定めがある場合を除き、式19について定義されているとおりである。式23aは式23のサブセットであり、別段の定めがある場合を除き、式23aにかかるすべての置換基は式23について定義されているとおりである。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0251****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0251】****合成例2**

3-ジフルオロメチル-N-[3',5'-ジフルオロ-4'-(1-メチル-1H-ピラゾール-3-イル)[1,1'-ビフェニル]-2-イル]-1-メチル-1H-ピラゾール(化合物232)の調製

ステップA: 1-(4-ブロモ-2,6-ジフルオロフェニル)-3-(ジメチルアミノ)-2-プロペン-1-オンの調製

1 - (4 - プロモ - 2 , 6 - ジフルオロフェニル) エタノン (国際公開第 2004 / 72070 号パンフレットに記載の方法に従って調製した ; 4 . 56 g 、 19 . 4 mmol) および N , N - デミチルアセタミドジメチルアセタール (6 . 94 g 、 58 . 2 mmol) のトルエン (45 mL) 中の混合物を 16 時間環流した。次いで、この反応混合物を減圧下で濃縮し、残渣を、ヘキサン中の 0 ~ 100 % 酢酸エチルで溶出するシリカゲルによる中圧液体クロマトグラフィにより精製して、表題の化合物 (4 . 78 g) を得た。

¹ H NMR 7 . 79 (br s , 1H) , 7 . 11 (m , 2H) , 5 . 31 (br s , 1H) , 3 . 12 (br s , 3H) , 2 . 89 (s , 3H) 。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0473

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0473】

コンポーネント (b) 殺菌・殺カビ剤の例としては、アシベンゾラル - S - メチル、アルジモルフ、アメトクトラジン、アミスルプロム、アニラジン、アザコナゾール、アゾキシストロビン、ベナラキシル (ベナラキシル - M を含む) 、ベノダニル、ベノミル、ベンチアバリカルブ (ベンチアバリカルブ - イソプロピルを含む) 、ベンゾビンジフルピル、ベトキサジン、ビナパクリル、ビフェニル、ビテルタノール、ビキサフェン、プラスチサイジン - S 、ボスカリド、プロムコナゾール、ブピリメート、ブチオベート、カプタホール、キャプタン、カルベンダジム、カルボキシン、カルプロパミド、クロロネブ、クロロタロニル、クロゾリネット、クロトリマゾール、水酸化銅、オキシ塩化銅、硫酸銅、シアゾファミド、シフルフェナミド、シモキサニル、シプロコナゾール、シプロジニル、ジクロフルアニド、ジクロシメット、ジクロメジン、ジクロラン、ジエトフェンカルブ、ジフェノコナゾール、ジフルメトリム、ジメチリモール、ジメトモルフ、ジモキシストロビン、ジニコナゾール (ジニコナゾール - M を含む) 、ジノカップ、ジチアノン、ジチオラン、ドデモルフ、ドジン、エコナゾール、エディフェンホス、エネストロブリン、エボキシコナゾール、エタコナゾール、エタボキサム、エチリモール、エトリジアゾール、ファモキサドン、フェナリモル、フェンアミドン、フェンブコナゾール、フェンフラム、フェンヘキサミド、フェノキサニル、フェンピクロニル、フェンプロピジン、フェンプロピモルフ、フェンピラザミン、酢酸トリフェニルスズ、塩化トリフェニルスズ、トリフェニルスズヒドロキシド、フェルバム、フェリムゾン、フロメトキン、フルアジナム、フルジオキソニル、フルモルフ、フルオピコリド、フルオピラム、フルオキサストロビン、フルキンコナゾール、フルシラゾール、フルスルファミド、フルチアニル、フルトラニル、フルトリアホール、フルキサピロキサド、ホルペット、フサライド、フベリダゾール、フララキシル、フラメトピル、グアザチン、ヘキサコナゾール、ヒメキサゾール、イマザリル、イミベンコナゾール、イミノクタジンアルベシレート、イミノクタジン三酢酸塩、ヨードカルブ、イプロコナゾール、イプロベンホス、イプロジオン、イプロバリカルブ、イソコナゾール、イソフェタミド、イソプロチオラン、イソピラザム、イソチアニル、カスガマイシン、クレソキシム - メチル、マンコゼブ、マンネブ、メパニピリム、メプロニル、メブチルジノカップ、メタラキシル (メタラキシル - M / メフェノキサムを含む) 、メトコナゾール、メタスルホカルブ、メチラム、メトミノストロビン、メトラフェノン、ミコナゾール、ミクロブタニル、ナフチフィン、ネオアソジン、ヌアリモル、オクチリノン、オフレース、オリザストロビン、オキサジキシル、オキソリン酸、オキスピコナゾール、オキシカルボキシン、オキシテトラサイクリン、ペフラゾエート、ベンコナゾール、ベンシクロン、ベンフルフェン、ベンチオピラド、亜リン酸 (例えは、ホセチル - アルミニウムといったその塩を含む) 、ピコキシストロビン、ピペラリン、ポリオキシン、プロベナゾール、プロクロラズ、プロシミドン、プロパマカルブ、プロピコナゾール、プロピネブ、プロキナジド、プロチオカルブ、プロチオコナゾール、ピラクロストロビン、ピラメトストロビン、ピラオキシストロビン、ピラゾホス、ピリベンカルブ、ピリブチカルブ、ピリフェ

ノックス、ピリメタニル、ピリオフェノン、ピロキロン、ピロールニトリン、キンコナゾール、キノメチオネート、キノキシフエン、キントゼン、シルチオファム、シメコナゾール、スピロキサミン、ストレプトマイシン、硫黄、テブコナゾール、テブフロキン、テブフロキン、テクロフタラム、テクナゼン、テルビナフィン、テトラコナゾール、チアベンダゾール、チフルザミド、チオファネート、チオファネート-メチル、チラム、チアジニル、トルコホス-メチル、トルプロカルブ、トリフルアニド、トリアジメホン、トリアジメノール、トリアリモル、トリチコナゾール、トリアゾキシド、三塩基性硫酸銅、トリシクラゾール、トリデモルフ、トリフロキシストロビン、トリフルミゾール、トリホリン、トリモルファミド、ウニコナゾール、バリダマイシン、バリフェナレート、バリフェナル、ピンクロゾリン、ジネブ、ジラム、ゾキサミド、 - (1 - クロロシクロプロピル) - - [2 - (2, 2 - ジクロロシクロプロピル)エチル] - 1H - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - エタノール、N - シクロプロピル - 3 - (ジフルオロメチル) - 5 - フルオロ - 1 - メチル - N - [[2 - (1 - メチルエチル)フェニル]メチル] - 1H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、N - [2 - (2, 4 - ジクロロフェニル) - 2 - メトキシ - 1 - メチルエチル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、3 - (ジフルオロメチル) - N - (2, 3 - ジヒドロ - 1, 1, 3 - トリメチル - 1H - インデン - 4 - イル) - 1 - メチル - 1H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、1, 1 - ジメチルエチルN - [6 - [[[(1 - メチル - 1H - テトラゾール - 5 - イル)フェニルメチレン]アミノ]オキシ]メチル] - 2 - ピリジニル] - カルバメート、1 - [4 - [4 - [5 - (2, 6 - ジフルオロ - フェニル) - 4, 5 - ジヒドロ - 3 - イソオキサゾリル] - 2 - チアゾリル] - 1 - ピペリジニル] - 2 - [5 - メチル - 3 - (トリフルオロ - メチル) - 1H - ピラゾール - 1 - イル]エタノン、2, 6 - ジメチル - 1H, 5H - [1, 4]ジチイノ[2, 3 - c : 5, 6 - c']ジピロール - 1, 3, 5, 7(2H, 6H) - テトロン、2 - [(2, 5 - ジメチル - フェノキシ) - メチル] - - メトキシ - N - ベンゼンアセトアミド、3 - [5 - (4 - クロロ - フェニル) - 2, 3 - ジメチル - 3 - イソキサゾリジニル]ピリジン、3 - ブチン - 1 - イルN - [6 - [[[(1 - メチル - 1H - トリアゾール - 5 - イル) - フェニルメチレン] - アミノ] - オキシ] - メチル] - 2 - ピリジニル]カルバメート、4 - フルオロ - フェニルN - [1 - [[[1 - (4 - シアノフェニル) - エチル] - スルホニル]メチル] - プロピル]カルバメート、5 - クロロ - 6 - (2, 4, 6 - トリ - フルオロ - フェニル) - 7 - (4 - メチルピペリジン - 1 - イル) [1, 2, 4] - トリアゾロ - [1, 5 - a] - ピリミジン、5 - フルオロ - 2 - [(4 - フルオロ - フェニル) - メトキシ] - 4 - ピリミジンアミン、5 - フルオロ - 2 - [(4 - メチルフェニル) - メトキシ] - 4 - ピリミジン - アミン、N - (4 - クロロ - 2 - ニトロ - フェニル) - N - エチル - 4 - メチルベンゼン - スルホニアミド、N - [[(シクロプロピル - メトキシ) - アミノ] - - [6 - (ジフルオロ - メトキシ) - 2, 3 - ジフルオロフェニル] - メチレン] - ベンゼンアセトアミド、N - [[(シクロ - プロピル - メトキシ) - アミノ] - [6 - (ジフルオロメトキシ) - 2, 3 - ジフルオロフェニル] - メチレン] - ベンゼン - - アセトアミド、N - [2 - (1S, 2R) - [1, 1' - ビシクロプロピル] - 2 - イルフェニル] - 3 - (ジフルオロメチル) - 1 - メチル - 1H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、(S) - [3 - (4 - クロロ - 2 - フルオロフェニル) - 5 - (2, 4 - ジフルオロフェニル) - 4 - イソオキサゾリル] - 3 - ピリジンメタノール、N - [2 - [4 - [[3 - (4 - クロロ - フェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル]オキシ] - 3 - メトキシ - フェニル] - エチル] - 3 - メチル - 2 - [(メチル - スルホニル) - アミノ] - ブタンアミド、N - [2 - [4 - [[3 - (4 - クロロ - フェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル]オキシ] - 3 - メトキシフェニル] - エチル] - 3 - メチル - 2 - [(メチル - スルホニル) - アミノ] - ブタンアミド、N - [2 - [4 - [[3 - (4 - クロロフェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル]オキシ] - 3 - メトキシ - フェニル]エチル] - 3 - メチル - 2 - [(メチル - スルホニル) - アミノ] - ブタンアミドおよびN - [2 - [4 - [[3 - (4 - クロロフェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル]オキシ] - 3 - メト

キシフェニル] - エチル] - 3 - メチル - 2 - [(エチル - スルホニル) - アミノ] - ブタンアミド、N' - [4 - [[3 - [(4 - クロロ - フェニル) メチル] - 1 , 2 , 4 - チア - ジアゾール - 5 - イル] オキシ] - 2 , 5 - ジメチルフェニル] - N - エチル - N - メチル - メタンイミドアミド、N' - [4 - [4 - クロロ - 3 - (トリフルオロ - メチル) - - フェノキシ] - 2 , 5 - ジメチル - フェニル] - N - エチル - N - メチル - メタンイミド - アミド、 - [メトキシ - イミノ] - N - メチル - 2 - [[[1 - [3 - (トリフルオロ - メチル) フェニル] エトキシ] - イミノ] - メチル] - ベンゼンアセトアミド、r e l - 1 - [[(2 R , 3 S) - 3 - (2 - クロロフェニル) - 2 - (2 , 4 - ジフルオロフェニル) - 2 - オキシラニル] - メチル] - 1 H - 1 , 2 , 4 - トリアゾール、r e l - 2 - [[(2 R , 3 S) - 3 - (2 - クロロ - フェニル) - 2 - (2 , 4 - ジフルオロ - フェニル) - 2 - オキシラニル] メチル] - 1 , 2 - ジヒドロ - 3 H - 1 , 2 , 4 - トリアゾール - 3 - チオン、および r e l - 1 - [[(2 R , 3 S) - 3 - (2 - クロロフェニル) - 2 - (2 , 4 - ジフルオロフェニル) - 2 - オキシラニル] メチル] - 5 - (2 - プロペン - 1 - イルチオ) - 1 H - 1 , 2 , 4 - トリアゾールが挙げられる。従って、注目すべきは、コンポーネント (a) として、式 1 の化合物（または、そのN - オキシドもしくは塩）、および、コンポーネント (b) として、記述の列挙から選択される少なくとも 1 種の殺菌・殺カビ剤を含む殺菌・殺カビ組成物である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

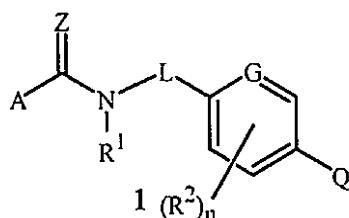
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 1 から選択される化合物

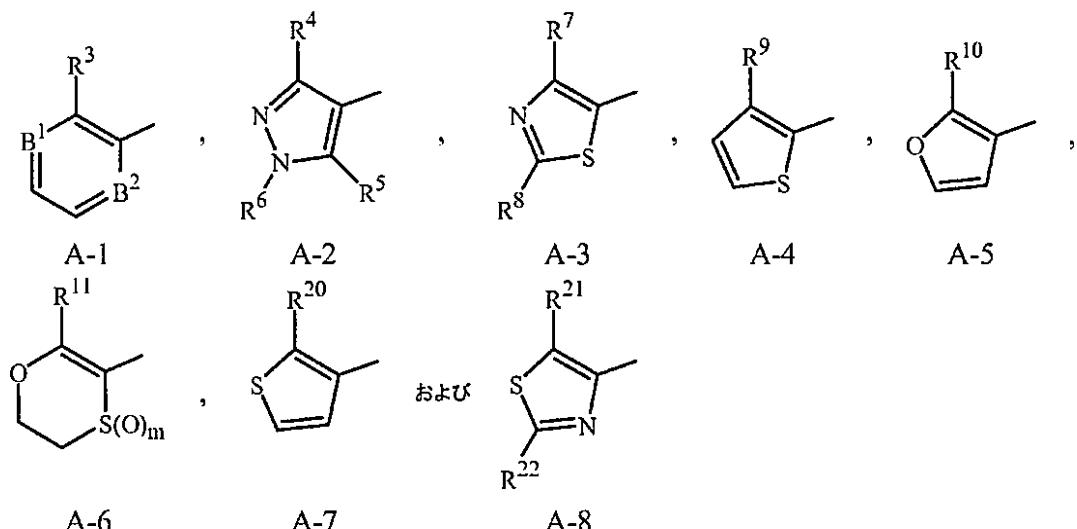
【化 1】



(式中、

A は、

【化2】



からなる群から選択されるラジカルであり；

R^1 は、H、シクロプロピルまたは $C_1 \sim C_2$ アルコキシであり；

Z は O または S であり；

L は、 $R^{1\sim 2}{}^a$ および $R^{1\sim 2}{}^b$ に結合している炭素原子が、式1中のカルボキサミド窒素原子にも結合している $-C(R^{1\sim 2}{}^a)R^{1\sim 2}{}^b-C(R^{1\sim 3}{}^a)R^{1\sim 3}{}^b-$ ；または、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_2$ アルキルから独立して選択される4個以下の置換基で任意選択的に置換されている $1,2$ -フェニレンであり；

G は、N または $C-R^{2\sim a}$ であり；

各 R^2 は、独立して、ハロゲン、ニトロ、シアノ、 $C_1 \sim C_2$ アルキル、 $C_1 \sim C_2$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_2$ アルコキシまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルコキシであり；

n は、0、1、2 または 3 であり；

$R^{2\sim a}$ は、H、ハロゲン、ニトロ、シアノ、 $C_1 \sim C_2$ アルキル、 $C_1 \sim C_2$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_2$ アルコキシまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルコキシであり；

B^1 は CH または N であり；

B^2 は CH または N であり；

R^3 は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

R^4 は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

R^5 は、H、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

R^6 は $C_1 \sim C_2$ アルキルであり；

R^7 は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

R^8 は、H、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであり；

R^9 は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

R^{10} は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

R^{11} は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_3$ アルキルまたは $C_1 \sim C_3$ ハロアルキルであり；

m は、0、1 または 2 であり；

$R^{1\sim 2}{}^a$ および $R^{1\sim 2}{}^b$ は、各々独立して、H、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであるか；または

$R^{1\sim 2}{}^a$ および $R^{1\sim 2}{}^b$ は一緒にになって $C_2 \sim C_4$ アルカンジイルとされ；

$R^{1\sim 3}{}^a$ は、H、ハロゲン、 $C_1 \sim C_2$ アルキル、 $C_1 \sim C_2$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_2$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_2$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_2$ アルキルチオもしくは $C_1 \sim C_2$ アルコキシアミノであり；

$R^{1\sim 3}{}^b$ は、H、ハロゲン、 $C_1 \sim C_2$ アルキルもしくは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであるか；または

$R^{1\sim 3}{}^a$ および $R^{1\sim 3}{}^b$ は一緒にになって $C_2 \sim C_4$ アルカンジイルとされ；

Qは、1個以下のO、1個以下のSおよび4個以下のN原子から独立して選択される4個以下のヘテロ原子ならびに炭素原子から選択される環員を含有する5員不飽和複素環であり、ここで、2個以下の炭素原子環員はC(=O)から独立して選択され、前記環は、任意選択的に、芳香族複素環と式1の残部とを結合する環員に対して遠位にある環員上において1個の置換基で置換されており、前記任意の置換基は、炭素原子環員においてR¹₄ cおよび窒素原子環員においてR¹₄ nから選択され、前記複素環はさらに、任意選択的に、炭素原子環員においてR¹₅ cおよび窒素原子環員においてR¹₅ nから選択される置換基で置換されており；

各R¹₄ cは、独立して、ハロゲン、シアノ、C₁～C₃アルキル、C₁～C₃ハロアルキル、C₁～C₃アルコキシ、C₁～C₃ハロアルコキシ、C₂～C₃アルコキシカルボニルもしくはC₂～C₄アルキルカルボニルであるか；または、R¹₆から独立して選択される5個以下の置換基で任意選択的に置換されるフェニル環であるか；または、炭素原子環員においてR¹₇ cおよび窒素原子環員においてR¹₇ nから独立して選択される4個以下の置換基で任意選択的に置換される芳香族複素環であり；

各R¹₄ nは、独立して、C₁～C₃アルキル、C₁～C₃ハロアルキルまたはC₁～C₃アルコキシであるか；または、R¹₈から独立して選択される5個以下の置換基で任意選択的に置換されるフェニル環であるか；または、炭素原子環員においてR¹₉ cおよび窒素原子環員においてR¹₉ nから独立して選択される4個以下の置換基で任意選択的に置換される芳香族複素環であり；

各R¹₅ cは、独立して、ハロゲン、C₁～C₃アルキル、C₁～C₃ハロアルキルまたはC₁～C₃アルコキシであり；

各R¹₅ nは、独立して、C₁～C₃アルキル、C₁～C₃ハロアルキルまたはC₁～C₃アルコキシであり；

各R¹₆、R¹₇ c、R¹₈およびR¹₉ cは、独立して、ハロゲン、シアノ、C₁～C₂アルキル、C₁～C₂ハロアルキル、C₁～C₂アルコキシまたはC₁～C₂ハロアルコキシであり；

各R¹₇ nおよびR¹₉ nは、独立して、C₁～C₂アルキル、C₁～C₂ハロアルキルまたはC₁～C₂アルコキシであり；

R²₀は、ハロゲン、C₁～C₃アルキルまたはC₁～C₃ハロアルキルであり；

R²₁は、ハロゲン、C₁～C₃アルキルまたはC₁～C₃ハロアルキルであり；および

R²₂は、H、C₁～C₂アルキルまたはC₁～C₂ハロアルキルである)であって、ただし：2-メチル-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]-5-チアゾールカルボキサミド、N-[2-[4-(3,5-ジメチル-1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]-1,3,5-トリメチル-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド、2-ブロモ-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]ベンズアミド、3-メチル-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]-2-チオフェンカルボキサミド、2-メチル-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-ヨード-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-フルオロ-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-クロロ-N-[2-[4-(1H-ピラゾール-1-イル)フェニル]エチル]ベンズアミド、5-クロロ-1,3-ジメチル-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド、2-メチル-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-メチル-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-フルオロ-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]-3-フランカルボキサミド、2-フルオロ-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-ブロモ-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]ベンズアミド、2-ヨード-N-[2-[4-(2-メチル-4-チアゾリル)フェニル]エチル]ベンズアミド、N-[2-

- [4 - (2 - メチル - 4 - チアゾリル) フェニル] エチル] - 2 - (トリフルオロメチル) ベンズアミド、および 2 - クロロ - N - [2 - [4 - (2 - メチル - 4 - チアゾリル) フェニル] エチル] ベンズアミド

以外のものである式 1 の化合物、その N - オキシドおよび塩。

【請求項 2】

3 - クロロ - N - [2 - [2 - クロロ - 4 - (3 - トリフルオロメチル) - 1 H - ピラゾール - 1 - イル] フェニル - 1 - メチルエチル] - 2 - ピラジンカルボキサミド、

N - [2 - [2 - クロロ - 4 - [3 - (トリフルオロメチル) - 1 H - ピラゾール - 1 - イル] フェニル] エチル] - 3 - (トリフルオロメチル) - 2 - ピリジンカルボキサミド、

N - [3' , 5' - ジフルオロ - 4' - [3 - (トリフルオロメチル) - 1 H - ピラゾール - 1 - イル] [1 , 1' - ビフェニル] - 2 - イル] - 3 - (トリフルオロメチル) - 2 - ピリジンカルボキサミド、

3 - (ジフルオロメチル) - N - [3' , 5' - ジフルオロ - 4' - [3 - (トリフルオロメチル) - 1 H - ピラゾール - 1 - イル] [1 , 1' - ビフェニル] - 2 - イル] - 1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - カルボキサミド、および

N - [2 - [3 - クロロ - 5 - [3 - (トリフルオロメチル) - 1 H - ピラゾール - 1 - イル] - 2 - ピリジニル] エチル] - 2 - (トリフルオロメチル) ベンズアミド

からなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

(a) 請求項 1 に記載の化合物；および、(b) 少なくとも 1 種の他の殺菌・殺カビ剤を含む殺菌・殺カビ組成物。

【請求項 4】

(a) 請求項 1 に記載の化合物；ならびに、(b) 界面活性剤、固体希釈剤および液体希釈剤からなる群から選択される少なくとも 1 種の追加のコンポーネントを含む殺菌・殺カビ組成物。

【請求項 5】

真菌性病原体によって引き起こされる病害から植物または植物種子を保護するための方法であって、殺菌・殺カビ的に有効な量の請求項 1 または 2 に記載の化合物を前記植物または植物種子に適用するステップを含む方法。

【請求項 6】

植食性線虫を防除する方法であって、前記線虫またはその環境に殺線虫的に有効な量の請求項 2 に記載の化合物を接触させるステップを含む方法。